

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0169

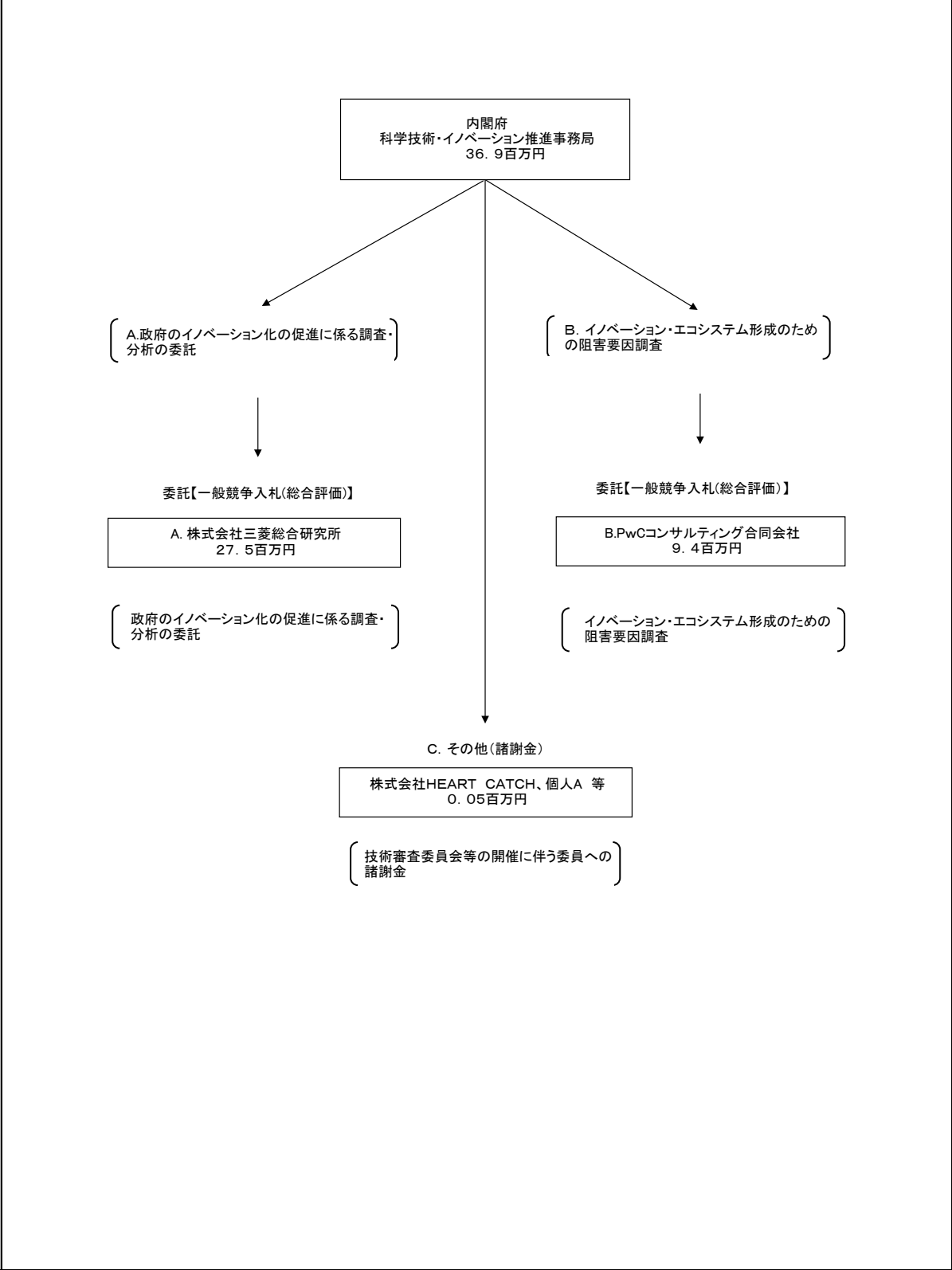
令和5年度行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	政府のイノベーション化の促進に係る調査・分析			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(総括担当)	武田 憲昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)		
政策	20. 科学技術・イノベーション政策			主要経費	その他の事項経費		
施策	23. 科学技術・イノベーション基本計画の策定・推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国が世界に伍してイノベーションを創出していくためには、政府事業・制度等におけるイノベーション化の必要がある。本事業では、既存事業への先進技術の導入、先進技術を組み込んだ物品の調達等を促進、人材育成事業への科学技術イノベーションの視点の導入等を通して、先進技術の実社会での活用を後押しするもの。各事業のより効率的・効果的な実施等を実現し、科学技術イノベーション志向の事業に変革することにより、科学技術イノベーションのより積極的な活用による経済社会の発展に貢献するもの。						
現状・課題 (5行程度以内)	これまで当局と関連する府省庁との間で、予算編成過程から政府事業・制度等におけるイノベーション化が図られてきた。さらなるイノベーション化の促進に向けて、これまで科学技術や革新的な手法を十分活用できていない政府事業・制度等に関し、導入可能な国内外の技術シーズや、それらを取り巻く規制・制度等を含め、これまでに実施された政策動向等の情報収集・分析を行い、当該事業・制度等におけるイノベーション化を促進する手法を検討するもの。						
事業概要 (5行程度以内)	政府事業・制度等のうち、科学技術や革新的な手法を活用する余地があると考えられるものを年度ごとに特定した上で、外部委託により次の調査・分析を行うことにより対象事業・制度等におけるイノベーション化を進めるための取組手法等をまとめる。 - 対象事業・制度等を取り巻く規制・制度等(国外の事例も含む。)等 - イノベーション化に向け導入可能な国内外の技術シーズ 等						
事業概要URL	https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	50.9	47.1	45	45	45
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	50.9	47.1	45	45	45
		執行額(G)	40.7	24.6	37		
執行率(%) =(G)/(F)	80%	52%	82%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	80%	52%	82%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・イノベーション推進事務局			重要政策推進枠:3		
	(目)	科学技術基礎調査等委託費	45.0	45.0			
	(目)	諸謝金	0.0	0.0			
		その他					
	計(A)	45	45				

活動内容① (アクティビティ)	政府のイノベーション化の促進を進めるにあたっては、本調査への取り組みだけでなく、関連する省庁におけるイノベーション化への協力依頼が必要である。関連する府省庁におけるイノベーション化について、打合せや文書等により、所管の事業・制度等におけるイノベーション化への取組を依頼する。																						
↓																							
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>回</td> </tr> </table>			活動実績	回	当初見込み	回	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込								
活動実績	回																						
当初見込み	回																						
	当局と関連する府省庁との間で、イノベーション化へ協力体制を構築し、政府全体としてイノベーション化をより強力に推進する。	当局からの文書等により、関連する府省庁に対してイノベーション化の協力依頼を送付した回数。		回	1	1	1	-	-														
				回	1	1	1	1	1														
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">↓</td> <td style="width: 10%;"> 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) </td> <td style="width: 80%;"> 対象事業・制度等におけるイノベーション化を進めるための取組手法等をまとめ、それに基づきイノベーション化推進を図り、イノベーション化が恒常的に行われる仕組みの構築、民間における先進技術等の開発・導入、投資拡大の誘発に資するもの。 </td> </tr> </table>	↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	対象事業・制度等におけるイノベーション化を進めるための取組手法等をまとめ、それに基づきイノベーション化推進を図り、イノベーション化が恒常的に行われる仕組みの構築、民間における先進技術等の開発・導入、投資拡大の誘発に資するもの。																				
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	対象事業・制度等におけるイノベーション化を進めるための取組手法等をまとめ、それに基づきイノベーション化推進を図り、イノベーション化が恒常的に行われる仕組みの構築、民間における先進技術等の開発・導入、投資拡大の誘発に資するもの。																					
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	件数	目標値	件数	達成度	%	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>目標年度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>年度</td> </tr> </table>				目標年度	-	年度	年度
成果実績	件数																						
目標値	件数																						
達成度	%																						
目標年度	-																						
年度	年度																						
	政府のイノベーション化の促進に係る調査・分析を実施し、その結果、新たな技術シーズの取り込みや制度改善等のイノベーション化を進めるための政策立案等に活用されること	新たな技術シーズの取り込みや制度改善等のイノベーション化を進めるための政策提案数		件数	1	1	1	-	-														
				件数	1	1	1	-	-														
				%	100	100	100	-	-														
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業は、政府事業・制度等のうち科学技術や革新的な手法を活用する余地があると考えられるものについて、導入可能な技術シーズ、関係する規制・制度等の調査・分析を通じてイノベーション化を進めるための取組手法等を検討し、まとめるものである。年度ごとに技術開発動向、イノベーション化への期待度、科学技術関係予算の状況等を勘案して実施対象事業・制度等を特定して行っているが、本施策のアウトカムとして、各年度における本事業成果の活用件数を設定する。																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">↓</td> <td style="width: 10%;"> 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) </td> <td style="width: 80%;"> 本事業の調査の結果が、新たな技術シーズの取り込みや制度改善等のイノベーション化を進めるための政策立案等に活用され、政府事業・制度等におけるイノベーション化が進展することを政策目標としている。令和2年度はODA分野、令和3年度は社会保障分野(特に介護分野)における更なる科学技術イノベーションの導入促進に向けた課題がまとめられ、関係省・機関間での今後の取組について共有が図られた。令和4年度はイノベーション創出に寄与する予算の抽出及び分析等を実施した。 </td> </tr> </table>	↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業の調査の結果が、新たな技術シーズの取り込みや制度改善等のイノベーション化を進めるための政策立案等に活用され、政府事業・制度等におけるイノベーション化が進展することを政策目標としている。令和2年度はODA分野、令和3年度は社会保障分野(特に介護分野)における更なる科学技術イノベーションの導入促進に向けた課題がまとめられ、関係省・機関間での今後の取組について共有が図られた。令和4年度はイノベーション創出に寄与する予算の抽出及び分析等を実施した。																				
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業の調査の結果が、新たな技術シーズの取り込みや制度改善等のイノベーション化を進めるための政策立案等に活用され、政府事業・制度等におけるイノベーション化が進展することを政策目標としている。令和2年度はODA分野、令和3年度は社会保障分野(特に介護分野)における更なる科学技術イノベーションの導入促進に向けた課題がまとめられ、関係省・機関間での今後の取組について共有が図られた。令和4年度はイノベーション創出に寄与する予算の抽出及び分析等を実施した。																					
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績		目標値		達成度	%	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>目標年度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>年度</td> </tr> </table>				目標年度	-	年度	年度
成果実績																							
目標値																							
達成度	%																						
目標年度	-																						
年度	年度																						
	-	-			-	-	-	-	-														
				%	-	-	-	-	-														
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">↓</td> <td style="width: 10%;"> 成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり) </td> <td style="width: 80%;"> - </td> </tr> </table>	↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-																				
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-																					
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	件数	目標値	件数	達成度	%	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>目標最終年度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>年度</td> </tr> </table>				目標最終年度	-	年度	年度
成果実績	件数																						
目標値	件数																						
達成度	%																						
目標最終年度	-																						
年度	年度																						
	政府のイノベーション化の促進に係る調査・分析を実施し、その結果、新たな技術シーズの取り込みや制度改善等のイノベーション化を進めるための政策立案等に活用されること。	政策立案等への活用件数		件数	1	1	1	-	-														
				件数	1	1	1	-	-														
				%	100	100	100	-	-														
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本施策により、関連する府省庁におけるイノベーション化の検討が進み、政府全体としてのイノベーション化を推進するもの。																						
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																						
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と使途の双方で実情が 分かるように記載）	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	政府事業・制度等におけるイノベーション促進の手法に係る調査・分析	18.6	人件費	イノベーション・エコシステム形成のための阻害要因調査	6.6
	その他の経費	海外の調査・分析のための経費等	5.3	その他の経費	海外の調査・分析のための経費等	2.1
	一般管理費	上記の管理	3.6	一般管理費	上記の管理	0.7
計		27.5	計		9.4	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社三菱総合研究所	6010001030403	政府事業・制度等におけるイノベーション促進の手法に係る調査・分析	27.5	一般競争契約 (総合評価)	1	--	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	PwCコンサルティング合同会社	1010401023102	イノベーション・エコシステム形成のための阻害要因調査	9.4	一般競争契約 (総合評価)	1	--	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社HEART CATCH	3010401112778	会議出席謝金	0	その他	--	--	
2	個人A		会議出席謝金	0	その他	--	--	
3	麴町税務署		会議出席謝金	0	その他	--	--	